

～神奈川県立山北高等学校から～ 生徒の活動紹介

～知る・探る・実践する 高校生が挑む未病・地域防災・SDGs～

「地域との協働による報告会」を開催しました

新聞にも掲載されました！

1月18日、山北町立生涯学習センターにて「地域との協働による報告会」を開催し、3年生が総合的な探究の時間（未来探究）による3年間の学びから考えた政策提言を発表しました。本校では、探究活動をとおして地域課題の解決に向けた地域活性化プランを生徒が自ら考え、発表する取り組みをしています。多くの皆様のご出席を賜り、ありがとうございました。

第1部 山北高校からの発表

～生徒による政策提言の概要～

山北町の特産品を新しく作ろう！

▶高齢化の進む山北町において、高齢者が不足しがちな栄養素を手軽に摂取することができる商品を考え、提案しました。

山北町でグランピングを楽しもう！

▶山北町の抱える観光客の減少や少子高齢化といった課題を解決する手立てとして、グランピング施設に着目。多角的な視点から施設のサービスや宣伝の改善策を提案しました。

山北町の認知症問題を解決しよう！

▶高齢化の進む山北町において、高齢者の認知症問題を改善するために「脳トレ」が効果的であると考え、脳トレをご高齢の方々に普及させる具体的な方策を提案しました。

自然と光の「見る」イルミネーション

▶山北町の観光客数を増やすために、他自治体の過去の事例を参考にしながら、クラウドファンディングを活用した「酒水の滝イルミネーション」というプロジェクトを提案しました。



第2部 座談会

第2部座談会では、教育ジャーナリストの後藤健夫様をモダレーターとしてお招きし、山北町の代表者、卒業生、在校生と意見交換をしました。



※詳しい活動内容は、神奈川県立山北高校ホームページをご覧ください。
【問合せ】神奈川県立山北高等学校（電話）75-0828（代表番号）

